

低濃度から高濃度まで! 残留塩素濃度をマルチレンジ測定

0.01 mg/ℓ ~ 15%迄測定



## 残留塩素計 &amp; 次亜塩素酸ナトリウム濃度計

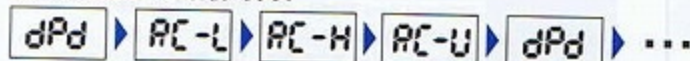
●厚生省通達 第85号大量調理施設衛生管理マニュアル  
野菜及び果物を加熱せず供する場合は次亜塩素酸ナトリウム200 mg/ℓの溶液に5分間浸漬して殺菌を行う。

## ●塩素殺菌水の濃度管理情報

- 1 手指の消毒: 約200mg/ℓ
- 2 まな板、調理台: 約200mg/ℓ
- 3 タワシ、ブラシ: 約300mg/ℓ
- 4 ふきん、タオル: 約300mg/ℓ
- 5 茶碗等の食器類: 約300mg/ℓ

## 1台で4項目測定

以下の順で測定モードが切り換わります。



低濃度モード <DPD法残留塩素> 0~3mg/ℓ	中濃度モード <有効塩素> 3~20mg/ℓ	高濃度モード <有効塩素> 20~300mg/ℓ	超高濃度モード <次亜塩素酸ナトリウム> 0.03%~15%
---------------------------------	------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------

## メモリー機能付

最大19件の測定データを記憶、▲▼キー操作で呼び出し可能。



&lt;例:DPDモードの場合&gt;

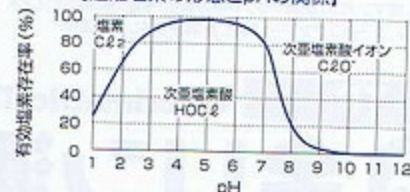
## 簡単な測定操作

3つのキー操作で測定。  
ゼロ校正は CAL キーでOK。

## 技術資料

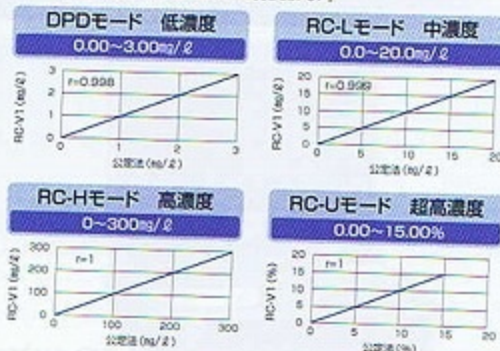
残留塩素とは、塩素処理のあと、水中に残留した有効塩素のことであり、単体塩素・次亜塩素酸などの遊離型有効塩素(遊離残留塩素)及びクロラミンのような結合型有効塩素(結合残留塩素)に区分される。(※上水試験方法)

【遊離塩素の形態とpHの関係】



## 各測定範囲における公定法とRC-V1の相関性データ

&lt;埼玉県環境衛生研究協会 第1002-323-01~1002-327-01号&gt;



## 各種測定用試薬

粉末試薬は1ヶづつアルミバックで包装されていますので、長期の保存性に優れています。  
試料採取には別売の専用マイクロピペットの使用をお勧めします。

## フルオブション群



## ワイドな適用用途

水道水、浄水場、スイミングプール、公衆浴場、浄化槽、下水、工場排水等



野菜、種子、カット野菜、漬物等の殺菌水の残留塩素測定



次亜塩素酸ナトリウム溶液等の殺菌水濃度管理



※写真は次亜塩素酸ナトリウム原液の例です。  
殺菌水調合のための希釈倍率決定のための有効塩素濃度測定